

平成 22 年 2 月 20 日

平成 21 年度 第 5 回北海道体育学会役員会議事録

- 日 時：平成 22 年 2 月 20 日（土） 14 時 00 分～15 時 30 分
- 場 所：KKR ホテル札幌 4F 「桂の間」
- 出席者：大櫃敬史、奥田知靖、神林勲、佐々木敏、佐川正人、志手典之、
城後豊（オブザーバー）、関朋昭、森田憲輝、山本理人（50 音順）

■議事録署名人：佐々木敏、関朋昭

■会長挨拶

議事に先立ち、佐川会長より挨拶があった。

■議 事

1. 臨時総会について

臨時総会について志手理事長から下記のとおり日程案が示され、この方向で検討を進めることが承認された。また、広報委員会が中心となって、企画及び場所を検討（場所については、企画の内容を踏まえ、内田洋行ユビキタス協創広場「ユーカラ」、北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」、北星大学講堂を含め、札幌市内で検討）することが承認された。

【日程案】

平成 22 年 6 月 5 日（土曜日）

13:00～ 役員会

15:00～ 臨時総会（議事内容：決算報告、予算案、学会賞・研究助成の見直し案）

16:00～ 企画（広報委員会）

18:00～ 懇親会

2. 学会賞・研究助成の見直しについて

佐々木研究委員長から、学会賞・研究助成の見直しに関する原案が提出され、「審査員の選出や謝礼に関すること」「前年度受賞者のアプライ」「予算の原資（プロジェクト研究の予算を含む）」「評価の内容」「審査員の人数（研究委員会の 3 名を含む 10 名程度）」「『若手』の定義」に関する議論がなされ、下記の内容が確認された。また、今後は志手理事長と佐々木研究委員長で下記の確認事項を踏まえ、原案を作成し、役員会、臨時総会に諮ることが承認さ

れた。

- ・ 学会賞と若手研究者賞を分け、当面は若手研究者賞のみ検討する。
- ・ 奨励賞を廃止し、若手研究者賞を設ける。
- ・ 研究誌への投稿を奨励するために受賞者の投稿料を無料とする。
- ・ 賞金は1万円とする。
- ・ 評価の観点に「発表の方法と態度（質疑応答を含む）」「研究の意義と目的の明確性」「論理性は（抄録を含む）」を加える。
- ・ 規定に「未発表の研究とする」を加える。

3. その他

- ・ 平成 22 年度の活動計画について志手理事長から日程案が提出され、本年度は役員選挙があることが確認された。
- ・ 事務局から体育学会申込書の変更案が提出され、大学院生・学生の入会希望者は指導教員名を記入すること（会員種別の欄、指導教員名の位置については修正）が承認された。また、今後は「会員種別（学生・院生会員）」について検討する必要があるという意見があった。

■報 告

1. 各種委員会（研究、大会、編集、広報）より

研究委員会より：

佐々木研究委員長から、若手研究者賞を含め、今後も若手の研究を盛り上げたい旨の意見が出された。

大会委員会より：

大櫃委員から、時期（11月ごろ）と場所（北大の学術交流会館は厳しい可能性あり）を含め、検討中であることが報告された。

編集委員会より：

なし

広報委員会より：

ニューズレターの原案に関する報告がなされた。

2. 事務局より

なし

3. 会計より

決算報告の進捗状況が報告され、会費収入の減少（12万円程度）、投稿料の徴収、会費の

督促方法（次の郵送物に督促状と振り込み用紙を入れる）に関する意見交換が行われた。

4. その他

なし

■ その他

次回役員会の開催日程については、事務局で日程調整をすることが承認された。